



GLOBAL MAPPING NewsLetter 63

第25回国際地図学会議（パリ）参加報告

D. R. フレイザー・テイラー博士

カナダ・カールトン大学地理環境研究学部教授、カナダ王立協会フェロー
ISCGM 委員長



第 25 回国際地図学会議は 2011 年 7 月 3 日～8 日にパリで開催されました。全世界から 1500 名の参加者がありました。主プログラムに加え、いくつかの委員会及び作業部会の会合が主プログラムに先立ち開催されました。ISCGM が会員となっている地理空間情報団体合同委員会 (JBGIS) 会合も本会議にあわせて開催されました。JBGIS には現在 10 団体が加盟しています。学術プログラムは 500 の口頭発表と 182 のポスターセッションから構成され、非常に質の高いものでした。著名なフランスの地図学者であるジャック・ベルタンの業績に関し一連の特別な発表がありました。ベルタン氏は今年の初めに亡くなりました。地球地図に関し、国土地理院小荒井衛氏による「第 2 版及びその利用のための地球地図の活動」及び ISCGM 委員長による「新しい国際図の作成：地球地図の経験」の 2 件の発表が行われました。また、地球地図は多くの発表でも触れられました。学術プログラムに加え、堂々としたフランス国立図書館における印象的なアフリカの初期の地図の掲示など、多くの視察と交流行事がありました。この図書館は世界で最も近代的なもののひとつであり、コロネリの巨大地球儀を展示しています。また、本パリ会議に



コロネリの地球儀

は、ICA 加盟国による印象的な地図掲示のほかバーバラ・ペチェニク子供地図展も含まれました。ICA 理事の改選があり、オーストリアのゲオルグ・ガートナー教授が会長職を引き継ぎました。また、2015 年の次回 ICA 総会の開催地の投票が行われ、リオデジャネイロがワシントンを破りました。

回りの ICA 会議は 2012 年 8 月 25 日～30 日にドイツ・ドレスデンで開催されます。



ブトレマイオスの地図 - アフリカ

ケンブリッジ会議 2011 報告

中村 孝之

国土地理院応用地理部環境地理課長
ISCGM 事務局

英国サウサンプトンの英国陸地測量部において、6月26日から7月1日までケンブリッジ会議 2011 が開催されました。同会議は、英国陸地測量部が主催し、世界各国の国家地図作成機関の代表が集まる4年に一度の会議で、今回は65カ国から大学、民間企業も含め120名が参加しました。会合のテーマは「より公平で安全な世界の構築のための地図作成」で、地球規模の地理空間情報管理（GGIM）に関する国連専門家委員会、災害管理、オープンデータ、国土空間データ基盤（NSDI）整備などをテーマに議論が行われました。ISCGM 委員長であるテイラー教授が座長を務めた6月28日の本会議で、国土地理院からは、村上地理空間情報部長（PCGIAP 副会長）が「日本における地震及び津波と災害準備のための地理空間情報の共通フレームワーク」と題して講演を行い、東日本大震災への対応の経験の紹介や ISCGM 事務局による災害時の被災地周辺の地球地図作成の取組

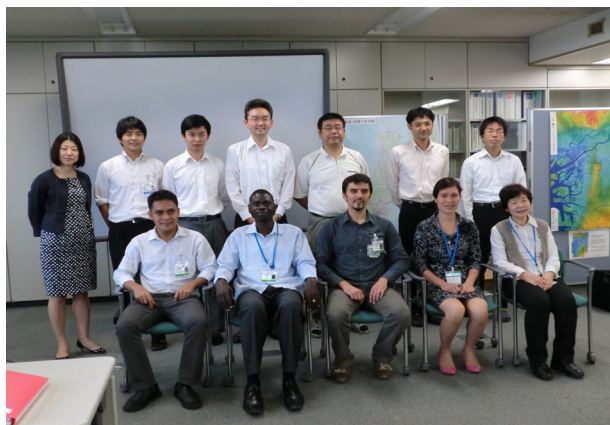
の紹介を行うとともに、GGIM の枠組みを活用して各国、関係機関が協力して災害対応の準備を進めることの重要性を述べました。また、福島応用地理部長（ISCGM 事務局長）は翌日、「日本における最近の地震の災害対応」と題して国土地理院の東日本大震災への対応の詳細について紹介しました。これらは参加者から強い関心が寄せられました。



2011 年度 JICA 集団研修環境地図（地球地図）作成コース

ドゥ・ティ・トゥー・トゥイ

ベトナム測量地図作成局科学・国際協力課専門官



2011 年 6 月 7 日～8 月 26 日に「環境地図（地球地図）作成」研修コースが開催されました。研修コースの目的は、地球地図第2版を整備するための国家地図作成機関（NMO）に対する技術支援です。

研修には、フィリピン、セネガル、セルビア及びベトナムから4名の研修員が参加しました。全員の研修員が GIS とリモートセンシングの経歴を持ち、各自が知識、能力及び経験を積み重ね、それらを自国の国家地図作成機関（NMO）の地球地図プロジェクトに利用できることを期待し、日本に来ました。

また、日本の文化と社会の良さについても理解した
 と思いました。

研修コースには、地球地図の実施と利用を理解
 するために必要な、素晴らしい講義とマニュアルを
 用いた5つの要素が含まれています。私たちは自
 国の地球地図第2版を整備するために必要な知識
 と技能を修得しました。また、研修コースには、地
 球地図の環境管理、減災、教育等への利用に関
 する数回の講義が含まれています。特に日本の大
 学や科学研究所により、実践的な研究のための興
 味深い講義が準備されていました。

当初は新しい不慣れな環境で複雑な心境では
 したが、2、3日のうちにお互いを理解し、多くのこと
 を共有することができました。講師や指導者、研修監
 理員、技術顧問の方々はオープンで優しく、私た
 ちがたやすく新しい環境に慣れるよう支援して下さ
 っています。現在では、私たちは家族のように、技
 術ばかりでなく社会や文化についても意見や考えを
 共有することができています。私たちは地球地図プ
 ロジェクトの成功を確信し、それぞれの所属機関の
 地球地図を一層良くするため、研修コースの終了
 後も GSI や JICA と連絡を取り続けるつもりです。

研修員を代表し、日本国政府及び（独）国際協

力機構（JICA）の本研修コースへの支援に深く感謝
 します。また国土地理院（GSI）、（社）国際技術建
 設協会（IDI）ならびに（財）日本国際協力センター
 （JICE）の熱心な助言や熟慮された資料、講義・研
 究旅行における素晴らしい手配、さらに厚い支援
 のもとに宿泊を提供して下さった筑波国際センター
 （TBIC）に心から感謝します。

JICE 研修監理員の柴田さん、IDI コーディネータ
 の阿部さん、JICA 担当職員の田中さん、GSI の助
 言グループの皆様、ご配慮とご支援ありがとうございました。
 研修期間は非常に短いものでしたが、私
 たちの人生で特筆すべき思い出になることと思いま
 す。



休日に東京・浅草寺にて

グルーラック駐日大使会における地球地図プロジェクトの紹介

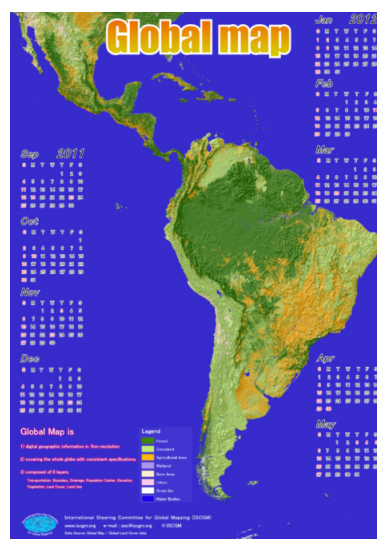
飯村 威

国土地理院応用地理部環境地理課技術専門員

ISCGM 事務局

2011 年9月6日、ペルー国のファン・カルロス・カ
 プニヤイ・チャベス特命全権大使の紹介により東京に
 おいて、「ラテンアメリカ・カリブ諸国（GRULAC）駐日
 大使会」が開催されました。GRULAC 駐日大使会と
 は、日本に在駐する 21 カ国大使館の大使が集まる会
 議です。当日は、大使及び大使代理等 15 名、国土
 交通省及び国土地理院から6名が参加しました。

冒頭、GRULAC 大使会議長を務めるキューバ国の
 ホセ・フェルナンデス・デ・コシーオ特命全権大使よ
 り開会の挨拶がありました。引き続き、福島 ISCGM 事
 務局長より、地球地図プロジェクトの概略、地球地図



図－1 地球地図カレンダー

データ内容、データ整備方策、利活用等についての約1時間程度の説明が行われました。中南米の地球地図カレンダー（図-1）、地球地図等による各国出力図を用意し、出席者に手交しました。

出席者からは、地球地図プロジェクトは非常に重要な取組であり、第2版データ完成に向けてサポートしたいとのコメントを多くいただきました。



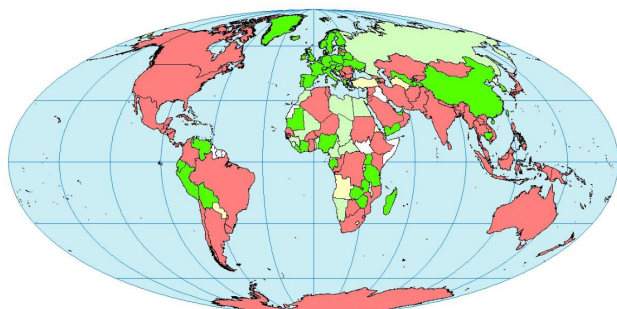
GRULAC 駐日大使会の参加者

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2011 年 6 月 25 日に前回のニュースレターが発行されて以降、コソボ（8 月 19 日）、セルビア（8 月 23 日）、セネガル（8 月 25 日）、アフガニスタン（9 月 2 日）の 3 カ国 1 地域（いずれも Ver.2）の地球地図が公開されました。

現在、165 カ国 /16 地域が地球地図プロジェクトに参加し、73 カ国 /5 地域（うち Ver.2 を公開しているのは 5 カ国 /1 地域）の地球地図が公開されています。



- データ公開中
- データ検証中
- データ作成中
- プロジェクト参加を検討中
- プロジェクト未参加

本図は参考のために作成したものであり、国境についてはいかなる組織によっても公認されたものではありません。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2011 年

- ・ 10 月 24 日～26 日、大韓民国、ソウル
国連地球規模の地理空間情報管理に関する
第 1 回ハイレベルフォーラム
- ・ 10 月 26 日、大韓民国、ソウル
地球規模の地理空間情報管理に関する
国連専門家委員会創立総会
- ・ 11 月 14 日～18 日、センチュリオン（プレトリア）、
南アフリカ
第 33 回 ISO/TC211 本会議及び関連会合
- ・ 11 月 16 日～17 日、トルコ、イスタンブール
GEO-VIII

2012 年

- ・ 5 月 6 日～11 日、ローマ、イタリア
FIG ワーキングウィーク及び総会
- ・ 5 月 13 日～17 日、ケベック市、カナダ
GSDI 13 会議
- ・ 6 月 4 日～6 日、リオデジャネイロ、ブラジル
リオ+20 国連持続可能な開発会議
- ・ 6 月 7 日～8 日、トゥールーズ、フランス
第 34 回 ISO/TC 211 本会議



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029-864-6910 Fax: 029-864-8087

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org